

2026 年 10 月 09 日

株式会社博報堂 D Y ホールディングス

ソウルドアウト株式会社

SO Technologies、業務理解から実務連携まで AI で一気通貫支援！ 広告主・代理店の AI 活用を加速する「n-ext」β 版を提供開始

博報堂 D Y グループのソウルドアウト株式会社(本社：東京都文京区、代表取締役社長 CEO 兼 CCO：北川共史)の連結子会社であり、マーケティングテクノロジーの力で地域活性化を推進する SO Technologies 株式会社(本社：東京都文京区、代表取締役：児島智、以下当社)は、AI が企業の独自ルールを理解し組織で活躍できる基盤を構築する新サービス『n-ext（ネクスト）』β 版の提供を開始いたしました。

本サービスは、AI 業務基盤の構築からデータ整理、現場定着までを一気通貫でサポートし、AI 活用に課題を抱える広告会社および事業会社（広告主）の組織的な成果創出を支援いたします。

業務理解から実務連携まで一気通貫！

AI現場活用を高速化

新サービス

n-ext 提供開始



背景

近年、多くの企業で AI 導入が進む一方、組織として大きな成果を生み出せている企業はわずか 4%程度（※1）に留まっているのが現状です。成果が出ない根本的な原因は、汎用的な AI モデルを導入しただけでは「ビジネスで使える AI」にならない点にあります。AI が会社固有のルールや最新の文脈、適切なデータ、社内の暗黙知を把握していないため、実務で誤った回答を出してしまうのです。

AIモデルの先にある「実装の壁」

会社固有のルールや正しい情報を知らない為、誤った回答をしてしまう。

Q 先週の売上はいくら？



AIの回答

4,802万円

・返金を考慮されていない
・古い計算ルールが適用

正しい回答

3,970万円

・経営会議で使える安心した数字

AI を現場の業務で真に機能させ、組織の戦力として活躍させるには、以下の取り組みが不可欠です。

- 社内データや現場の暗黙知を正しく整理し、AI へ連携させる
- 組織特有のルールや最新の文脈を正しく理解させる
- 情報を常に最新の状態に保つ運用体制を作る
- 複数人が日常業務で使い続けられる仕組みを構築する

しかし、これらを自社リソースのみで進めるのは非常に難易度が高く、多くの企業が壁にぶつかっています。そこで「n-ext」では、専門チームが現場に入り込む【Notion × FDE※2 チーム】の体制により、データ整備から実務定着までを一気通貫で支援するために開発いたしました。

※1 引用:McKinsey The State of AI 2025/BCG Wheres the Value in AI? 2024

<https://www.mckinsey.com/capabilities/quantumblack/our-insights/the-state-of-ai>

※2 FDE (Forward Deployed Engineer) : 開発室にとどまらず顧客の現場最前線に入り込み、業務課題や独自ルールを直接把握しながらシステム構築・データ整備を行うエンジニアのこと

AI 業務基盤構築サービス「n-ext」とは

企業が保有する情報や独自の業務ルールを AI に接続し、現場で即座に使える状態を一気通貫で構築するサービスです。社内に散在する情報を Notion へ集約・構造化することで、単なるメモツールから組織独自のルールに最適化された「自律型 AI チーム」へと進化させます。

4 つの特徴

① コンサルタントと FDE による、課題整理から運用定着までの一気通貫支援

コンサルタントが現場の業務課題を整理し、FDE が必要な仕組みを構築します。両者が一つのチームとして、設計・実装・研修・改善まで伴走。現場に入って開発するだけでなく、業務の成果につながるまで支援します。

② Notion を基盤に、組織の文脈を AI が活用できる形にする

顧客情報や議事録を集約し、社内用語、業務ルール、判断の背景も整理します。Notion を情報基盤として活用することで、AI が必要な情報を参照し、各社の業務に沿った回答や支援ができる環境をつくります。

③ 支援を重ねるほど進化する、再現性のあるサービスモデル

Notion 上の基盤や導入手順、業務別のユースケースを共通化し、各社固有の課題に合わせて展開します。顧客支援で得た知見をサービスに還元することで、支援の品質を高めながら、より多くの企業に成果を届けられるモデルを目指します。

④ 分析から「次の実務アクション」までシームレス接続

定量データだけでなく「顧客の声」や「社内チャットの会話ログ」も統合分析。分析結果の Slack 共有・チーム議論の促進、会議アジェンダの自動生成など、次の実務アクションへスムーズに繋がります。

<n-ext：イメージ動画>



※YouTube URL：<https://youtu.be/7-cqQyw5nvU>

※掲載動画はイメージであり、同様の操作は Notion や Claude 等のツールでも再現可能です。

先行導入実績

「n-ext」の β 版を先行導入した企業において、業務フローの改善と圧倒的な生産性向上を実証しています。

1. インサイドセールス部門：1 時間あたりの架電数が「約 3 倍」に向上

Excel などに分散していた顧客情報や活動履歴、通話内容を Notion 上の CRM に集約しました。情報の検索や入力にかかる手間を減らした結果、1 時間あたりの架電数は導入前の約 3 倍に向上。蓄積した通話内容を、顧客の反応分析や営業活動の改善にも活用しています。

2. カスタマーサポート部門：回答作成時間を「約 60%短縮」

複数のツールに散在していた問い合わせ履歴や製品情報を整理し、必要な情報を探しやすい環境を構築しました。その結果、顧客への回答にかかる時間を約 60%短縮。担当者が情報を探す負担を減らし、より複雑な問い合わせへの丁寧な対応に時間を充てられるようになりました。



今後の展望

初期導入企業への支援を通して得た知見をもとに、業務整理から情報基盤の構築、AI の実務活用、運用定着までの支援方法を標準化していきます。Notion を共通基盤として活用しながら、各社の課題に合わせた支援の質を高め、より多くの企業に展開できる体制を整えます。

また、顧客情報や社内の知識を蓄積するだけでなく、会議準備、顧客対応、次のアクションの提案など、日々の業務で成果を実感できる活用領域を広げてまいります。

引き続き、ソールドアウトグループは、地方を含む全国の中堅・中小企業が AI 活用を確実に前に進められるよう、博報堂 D Y グループの横断的な AI 専門家集団「HCAI Professionals」の活動としても、今後さらに実装と定着の支援を強化していきます。今後も企業の状況に寄り添いながら、AI 活用の促進を継続的にサポートしてまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

ソールドアウト株式会社 広報担当 pr@ml.sold-out.co.jp

株式会社博報堂 D Y ホールディングス グループ広報・IR室 koho.mail@hakuodo.co.jp